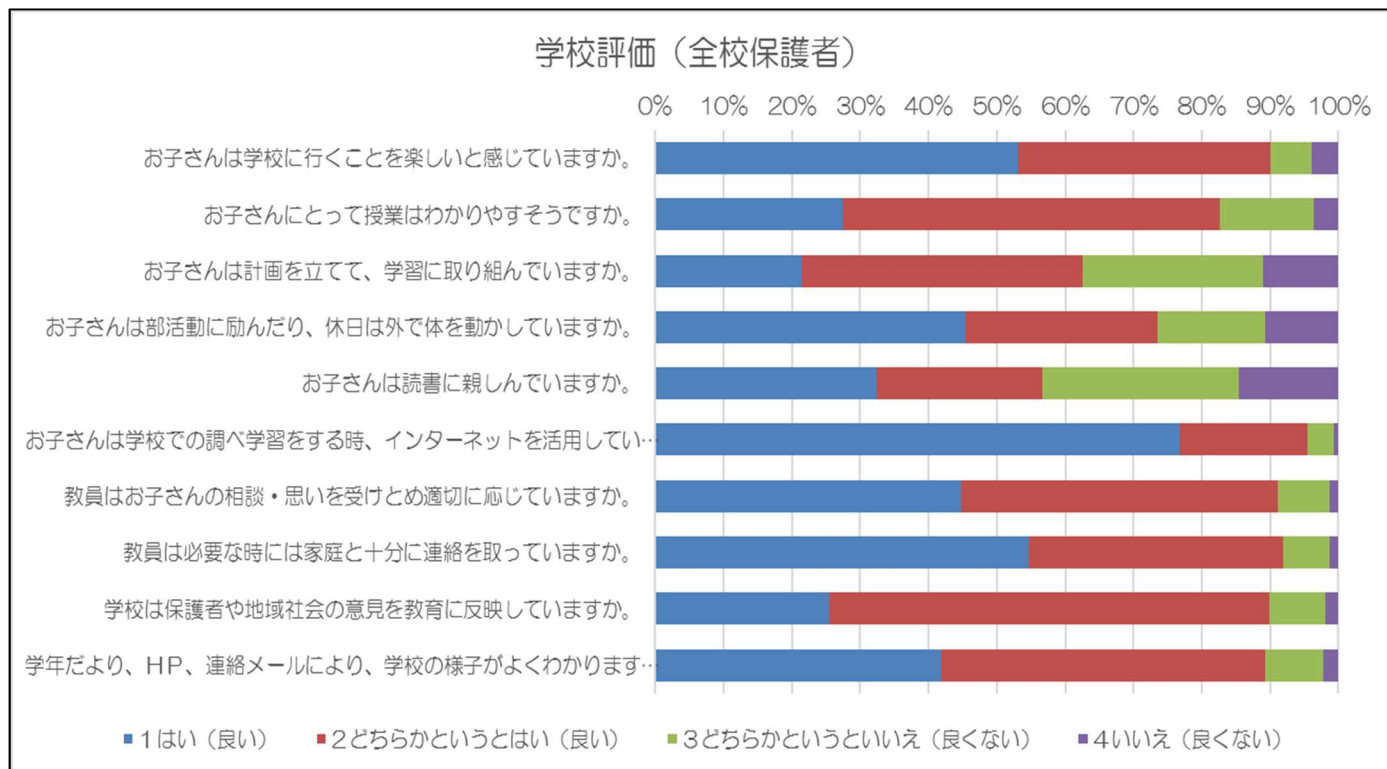


令和3年度 学校評価集計結果（保護者）

全体	309名(73%)
1年	95名(65%)
2年	131名(80%)
3年	83名(72%)



令和4年1月に保護者アンケートを実施しました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

【アンケートからの考察】

- 「学校に行くことを楽しいと感じている」「授業がわかりやすい」については、肯定的な回答が昨年度より増えた。コロナ禍で制限はあるが楽しい授業、楽しい行事、楽しい学校生活を今後も推進していく。授業に関してはタブレットの導入、それを活用したICT授業に取り組みその成果が生徒を通じ保護者の方々へ伝わっていると考える。
- 「計画的に学習をおこなうことができている」については、昨年度に引き続き増加し、62%であった。計画的に取り組む習慣を中学生時代につけることの重要性を理解させ、今後も定期考査や進路学習において取り組み効果を高めていきたい。
- 「読書」については「親んでいる」と答えた保護者が前年度より11ポイント増えたが、「親んでいない」と答えた保護者が前年度より5ポイント増。「運動」でも「体を動かしていない」と答えた保護者が前年度より8ポイント増となった。朝読書は毎日実施しているが、読書科をより一層推進し読書に親しむ生徒を育成していく。同様に「運動」に関しても生涯にわたり健康な体を維持し、生涯においてスポーツに取り組めるよう、体を動かすことの楽しさとその意義を授業、行事等において確実に身につけさせたい。
- 「学校の様子がよくわかります」については、肯定的な回答が昨年度より3ポイント増え89%であった。今後も学年だより、学校HP、そして連絡メールを有効に活用し、学校の状況を発信していきたい。そして、保護者や地域の声にしっかり耳を傾け、必要な時に家庭と十分に連携をとり、適切に対応し、次年度も地域に根差した学校を運営していきたい。

また、保護者の方からご意見をいただきましたので、いくつかご回答させていただきます。

<タブレットの活用、オンライン授業について>

タブレットの活用、オンライン授業については、区も推進しておりますので、本校でもタブレットの有効活用を柱とし、オンライン授業の実施に向け整備してまいります。

本校の機器的な準備はだいぶ整ってきております。学級や学年閉鎖時における学校側の体制を事前に整え、実施の際は登校時とできるだけ変わらぬ学習活動ができるよう対応してまいります。

オンライン学習にはメリットも多くありますが、オンライン学習を進めるがあまり、学校離れという新たな課題が持ち上がることも懸念されています。オンラインで全てできてしまうと、登校する意義を見出せず、安易に登校しない、学校離れに進むことも考えられます。そのためにも本校教員が魅力ある、生徒同士の対話による授業づくり、学校づくりを引き続き行ってまいります。ご家庭でもご理解の上、ご協力のほどよろしくお願い致します。

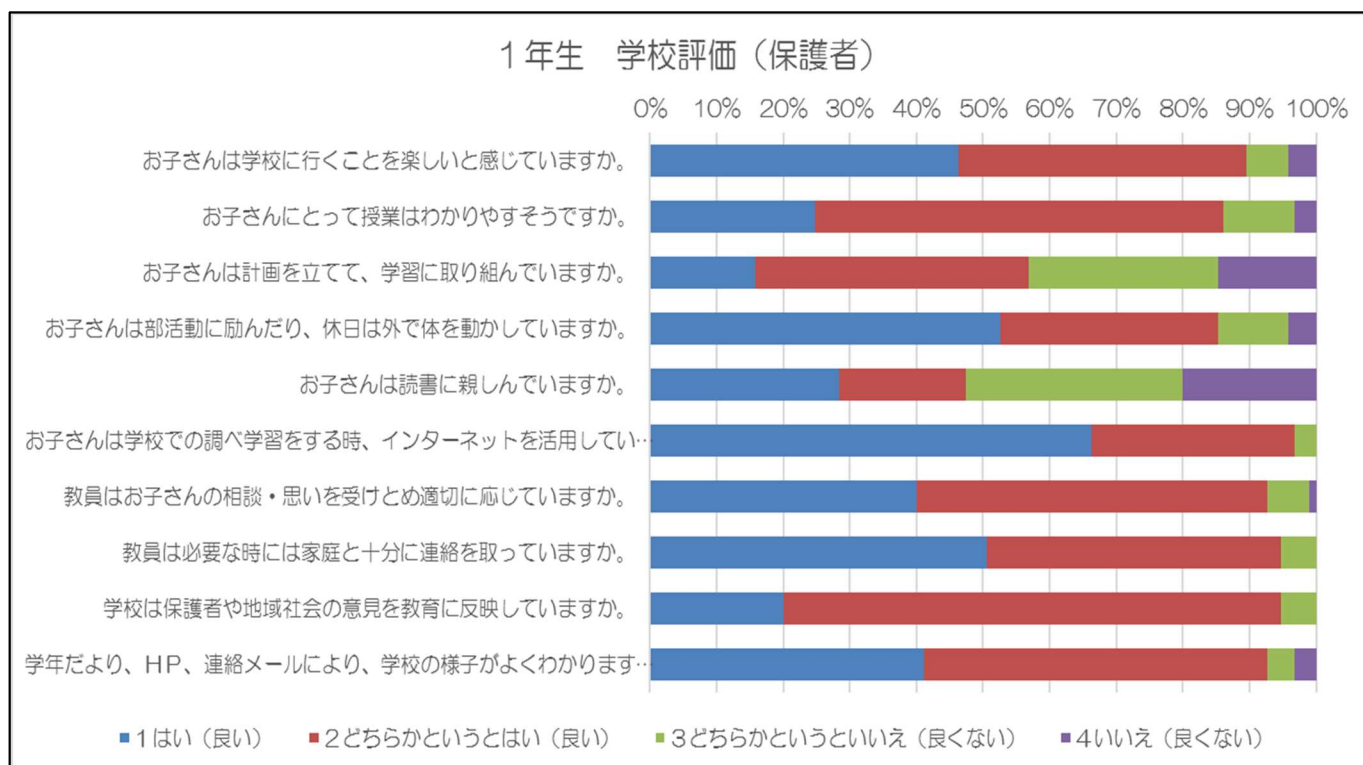
<カバン 荷物の軽減について>

「学校へ置いてよいもの」を学年ごとに取り決めています。教室に設置してある棚を有効に活用し、持ち帰りの荷物について再検討し軽減に取り組んで参ります。

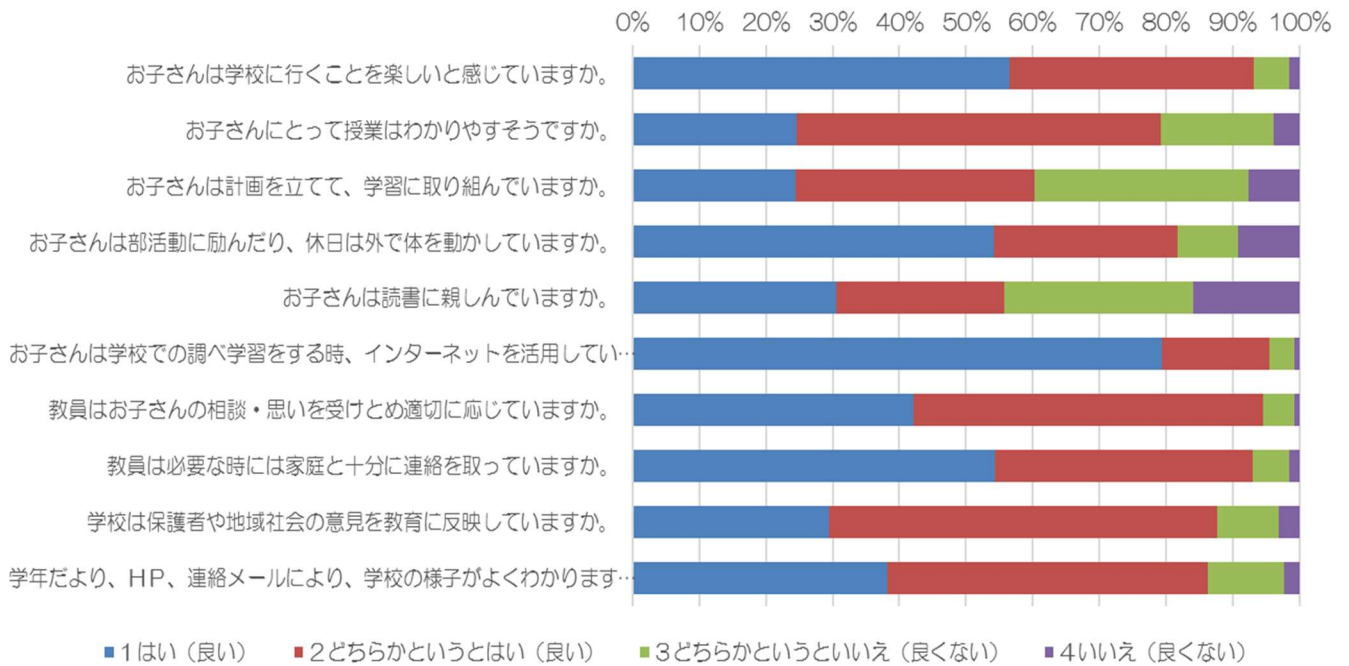
教科書の電子化については、全教科一斉にはまだ時間が必要ですが区でもデジタル教科書の導入を段階的に行うことになっています。

<指導について>

本校の指導についてもいくつかご意見をいただきました。ご意見を真摯に受け止め改善に尽くしてまいります。



2年生 学校評価（保護者）



3年生 学校評価（保護者）

